

特集

～道内建設業担い手確保助成事業について～

北海道建設業信用保証㈱では、従来から取り組んでいる「道内建設業担い手確保助成事業」を2024年度～2028年度の5か年事業として、継続的に助成してまいります。

2024年度からの道内建設業担い手確保助成事業は、「担い手となる若い世代に直接助成が行き届く」という基本方針を継続しつつ、「建設業界の人材定着」にも焦点をあて、建設業団体や教育機関の要望を把握しながら2024年度～2028年度までの5年間で総額1億円を助成してまいります。2年度目となる今年度は、高校生の土木、建築、電気施工管理技士等の資格取得に対して、受験料やテキスト代、試験地から離れた高校からの受験のバス代や地方協会と高校との連携授業等へ手厚い助成を行うこととしております。

今年度からの新規事業としては、帯広建設業協会に対して、新入社員研修・建設工事における技術講習会（2件）、会員企業の入社3年以内の社員を対象とした社会人の基礎的な能力の向上を図るための講習会、及び会員企業を対象とした建設工事の技術向上を目的とした講習会を実施します。

昨年に引き続き「北海道の建設業の持続発展への支援とその魅力の情報発信」を目標とし、各建設業団体の皆様と協働し、こうした取組をSNSなどにより幅広く情報を発信してまいります。



また、コンストラクション甲子園については、今年度事業の具体化に併せて、運営面も含め当社としてもしっかりと支援してまいります。本事業を通じて道内建設業における入職促進・人材育成に貢献していきたいと考えています。